

菓子に雑貨、スポーツも フランス文化を満喫



弘前 体験イベント盛況

フランス文化が体験できる「フランス日和〜マルシェ2015」が26日、弘前市土手町の蓬萊広場で開かれた。フランス発祥のスポーツ・菓子の体験やミニライブなどが催され、家族連れらでにぎわった。

(成田真矢)

フランス日和は、弘前大学の地域志向プロジェクト型科目「地域と世界をつなぐ」履修生13人で立ち上げた「弘前グローカル・アクション」の主催。市民参加型まちづくり1%システムの採択事業で、弘前の菓子店や企業、ハンドメイド作品のグループなどさまざまな地元団体が協力した。

フランス菓子や野菜、フランスの食やスポーツ、文化に触れられるさまざまな企画が行われたフランス日和

カヌレ・シードルの試食体験コーナーなど、フランス文化や言葉に触れる会は「フランス色」が濃い。子どもからお年寄りまで幅広い年代の人が集まり、さまざまな企画を通してフランスの文化や言葉に触れたいという声も聞かれた。弘前グローカル・アクション代表の弘前大学文学部3年小田切雅照さんは「弘前ににぎわいを創出し、また、フランスと弘前それぞれを再認識してもらいたい」と期待した。

この画像は、当該ページに限り陸奥新報の記事利用を許諾したものです。
転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。